

江戸川区サッカー連盟少年部 区民大会・連盟大会規定

江戸川区サッカー連盟
少年部 運営委員会

第1条 フィールド

高学年（5・6年生）

フィールドサイズ：68m×50mを原則とする

ゴールサイズ：5m×2m

ゴールエリア：ポストから4m

ペナルティエリア：ポストから12m

センターサークル：R7m

ペナルティスポット：8m

中学年（3・4年生）

フィールドサイズ：60m×40mを原則とする

ゴールサイズ：5m×2m

ゴールエリア：ポストから4m

ペナルティエリア：ポストから12m

センターサークル：R7m

ペナルティスポット：8m

低学年（1・2年生）

フィールドサイズ：40m×30mを原則とする

ゴールサイズ：3m×2m

ゴールエリア：ポストから3m（臨海球技場のみペナルティエリアと同一）

ペナルティエリア：ポストから9m

センターサークル：R5m

ペナルティスポット：6m



第2条 ボール

JFA 検定球の4号球を準備、主審が使用球を決定する

空気圧は3～6年生は0.8気圧、低学年（1・2年生）は0.5気圧とする

第3条 競技者と指導者

競技者

試合は8人の競技者からなる2つのチームで行われる。そのうち1名はゴールキーパーであること。試合開始時に8人に満たない場合は参考試合とする

1つのチームの競技者がケガ、退場などで8人に満たない場合は、速やかに競技者を補充し、7人以下で試合を再開することはできない。ただし補充する競技者がいない場合のみフィールド上に6人いれば試合は成立とする

ベンチ入りする競技者の数はメンバー表に記載できる上限を原則とするが多少の増員は認めるすべての競技者はスポーツ傷害保険に加入していなければならない

交代

交代は何度でも出入りできる「自由な交代制」とし、フィールドに設けられたハーフウェーラインから3mの交代ゾーンで主審に通知することなく、またインプレー、アウトオブプレーに関係なく行う

※IFAB 競技規則 2019/20 で「境界線の最も近い地点から出なければならない。」と改定されたがFPの交代には適用しない：日本サッカー協会 2019年11月14日の通達「8人制サッカー競技規則の修正点」による

ゴールキーパーの交代は主審に通知しアウトオブプレー中に行い、ゴールキーパーの準備ができるまで試合を再開してはならない

※IFAB 競技規則 2019/20 で「境界線の最も近い地点から出なければならない。」と改定されGKの交代に適用する：日本サッカー協会 2019年11月14日の通達「8人制サッカー競技規則の修正点」による
ベンチにいる競技者は、相手競技者と異色のビブスを着用するか、味方及び相手競技者のユニフォームと被らないウェアを着用すること

指導者

ベンチ入りする指導者の数は2名以上5名以内とする

指導者は審判服のままベンチ入りしないこと

指導者は救急バッグ（箱）をベンチに準備しなければならない

また夏場の熱中症対策としてクーラーバッグを持ち込むことを認める

指導者は競技中にベンチから写真撮影、ビデオ撮影をすることはできない

第4条 用具

安全

競技者は安全のためシンガードを着用しなければならない

競技者は危険な用具を身に付けてはならない

危険な用具とはネックレス、指輪、ブレスレット、イヤリング、皮革でできたバンド、ゴムでできたバンドなどの装身具や、プラスチックや金属でできた髪留めなどを含む眼鏡の着用は認めない。スポーツゴーグルは可とする

ヘッドギア、フェイスマスク、また膝や腕のプロテクターなど危険でない保護用具で、柔らかく、軽いパッドが入った材質でできているものは、ゴールキーパーの帽子やスポーツゴーグルと同様に認められる

夏場の熱中症指数計が注意、警告を示している時は低学年（1・2年生）のみフィールドプレーヤーの帽子着用を認める。ただし素材が柔らかく競技者の安全が確保できるものに限る

ユニフォーム

チームは異色の正副2種のFP用及びGK用ユニフォームを準備しなければならない

ユニフォームとはシャツ、パンツ、ソックスで構成される

3年生以上のユニフォームの背番号は年間リーグを除き大会期間中は選手固有の番号でなければならない

なお低学年（1・2年生）の背番号については別途定めるユニフォーム規定に従う

第5条 審判

高学年（5・6年生）

主審、四審、副審2名の4人制審判で行う

審判は4級以上の有資格者でなければならない

中学年（3・4年生）

主審、四審、副審2名の4人制審判で行う

審判は4級以上の有資格者でなければならない

低学年（1・2年生）

主審、副審の1人制審判で行う

審判は4級以上の有資格者でなければならない

審判員の用具

審判員は黒をベースとした審判服を正しく着用しなければならない

資格ワッペン、リスペクトワッペンの着用、時計、ホイッスル、コイン、カード、記録用紙など準備しなければならない

第6条 試合時間

試合時間はJFAの定める1日90分～120分以内という基準に従う

4・5・6年生

20分ハーフ、ハーフタイム5分

決勝及び3位決定戦のみ5分ハーフの延長戦

予選リーグにおいて4チームリーグは15分ハーフ、3チームリーグは20分ハーフ

3年生

15分ハーフ、ハーフタイム5分

決勝及び3位決定戦のみ5分ハーフの延長戦

1・2年生

10分ハーフ、ハーフタイム3分

決勝及び3位決定戦、順位決定戦のみ5分ハーフの延長戦

夏場の熱中症対策

熱中症指数計が注意、警告を表示するときは、3年生以上は前後半のそれぞれおよそ半分で飲水タイムまたはCOOLING BREAKを採用する。採用については運営委員会が決定する

豪雨、雷等による中断、中止

試合中、突然の豪雨や雷が鳴った場合は審判員もしくは運営委員会の判断により試合を中断、中止することがある。中止した場合、試合時間の70%以上が経過している場合は試合成立とし、70%未満しか経過していない場合は残り時間を再試合とする

第7条 大会方式

3・4・5・6年生

予選はリーグ戦（4チームまたは3チーム）

BEST16以降はトーナメント戦

1・2年生

AB大会方式

予選はリーグ戦（4チームまたは3チーム）

BEST6以降、決勝リーグ及び決勝、3位決定戦、順位決定戦

勝者の決定方法

リーグ戦は①勝点、②得失点差、③総得点、④対戦の勝者

勝点は勝3、引分1、負0とする

上記で決しない場合はPK戦（3人）を行う

トーナメント戦は延長戦がない場合はPK戦（3人）を行う

リーグ戦における上位進出決定方法は成績順、ただし同成績で当落がある場合はPK戦（3人）または抽選を行う

不戦もしくは失格参考試合の場合、公式記録上は0-5の敗戦とする

第8条 反則について

オフサイド

3年生以上はオフサイドルール（IFAB競技規則第11条記載）を適用する

低学年（1・2年生）はオフサイドルールを適用しない

バックパス

全ての学年でバックパスルール（IFAB競技規則第12条2項記載）を適用する

キックオフゴール

すべてのキックオフからの直接ゴールは認めない（日本サッカー協会8人制サッカー競技規則による）

警告と退場

試合中にレッドカード（退場）やイエローカード（警告）を2回示された競技者は、退場しなければならない。チームは速やかに退場した競技者の補充を行い常に8人で試合を行うこと
退場した競技者は当該試合と次の1試合に出場できない。大会期間中警告は累積する

第9条 大会の準備、撤収について

設営

原則第1試合の90分前に第1、第2試合の対戦チーム及び審判チームは集合し設営を行う
(臨海球技場の場合は施設の関係で60分前の場合があるので要確認)

ミーティング

試合当日は第1試合の約30分～1時間前に注意事項等のミーティングを本部前で行う

第1試合、第2試合に参加するチームは必ず集合すること

第3試合以降のチームは会場到着後、必ず本部にて当日の注意事項を確認すること

選手チェック

競技者が参加する最初の試合の15分前までに運営本部にて選手チェックを行うこと

選手チェックは最初の試合前のみで良いが、後から参加する選手は到着後選手チェックを受け
ること

用具チェック

用具チェックは試合開始5分前に担当審判員が所定の場所(ベンチ脇、後ろ等)で行う

用具チェック以降はベンチ以外に行くことはできない

撤収

最終試合、その1つ前の試合の対戦チーム及び審判チームは用具等の撤収を行う

備品の収納場所が分からない場合などは必ず運営委員に確認し正しい場所に格納すること

備考

区民大会

江戸川区及び江戸川区体育会が主催し江戸川区サッカー連盟が主管する大会

連盟大会

江戸川区サッカー連盟が主催する大会

- ・ EDOGAWA MOTHERS CUP 高木ひでたか杯
- ・ 新春親善少年サッカー大会
- ・ SS杯争奪ジュニアサッカー大会
- ・ 千葉義男杯 千葉義男記念大会 ※11人制
- ・ EDOGAWA4年生リーグ (E4リーグ)

改定履歴

2019年11月8日

区民大会だけでなく連盟大会にも規定を適用

2020年6月1日

IFAB競技規則2019/20に合わせ改定

2019年9月5日公布

2020年6月1日改定

2020年6月1日施行